

第74回北海道高等学校PTA連合会大会（道南大会）開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校PTA 連合会
- 2 共 催 一般社団法人 全国高等学校PTA 連合会
- 3 後 援 北海道教育委員会 北海道高等学校長協会 函館市 函館市教育委員会
- 4 主 管 北海道高等学校PTA 連合会 道南支部 主管校 北海道函館中部高等学校
- 5 日 時 令和7(2025)年6月7日(土)、8日(日)

日	内 容	時 間	会 場
7 日 (土)	道高P 連総会	11:00-12:00	函館市民会館 大会議室
	受付	12:30-13:30	函館市民会館 大ホール ＜1370 名収容＞
	全体会	開会式・表彰式	
		講演	
	受付	17:30-18:00	函館国際ホテル
	教育懇談会	18:00-19:30	
8 日 (日)	受付	9:00- 9:30	各分科会 会場
	分科会	9:30-12:00	

6 会 場

- 7 日 (土) 総会・全体会 函館市民会館 函館市湯川町1丁目32番1号 TEL 0138-57-3111
 教育懇談会 函館国際ホテル 函館市大手町5番10号 TEL 0138-23-5151
- 8 日 (日) 第1分科会会場 遺愛女子高等学校 函館市杉並町23番11号 TEL 0138-51-0418
 第2分科会会場 北海道函館西高等学校 函館市元町7番17号 TEL 0138-23-8415
 第3分科会会場 北海道函館工業高等学校 函館市川原町5番13号 TEL 0138-51-2271
 第4分科会会場 市立函館高等学校 函館市柳町11番5号 TEL 0138-52-0099

7 大会主題 「新時代をひらく若者を共に支えよう～本音の語らいから生まれるPTAの活力～」

8 大会メッセージ

『新たな未来を創る子どもたちを支え育むために』

今こそ求められるPTAの役割と学校・家庭・地域とのつながりについて、異国情緒あふれる
 街並み、美しい夜景が魅力の函館で大いに語り合しましょう」

9 講 演 演題 「心で考える経営～地域と共に～」

講師 丸谷 智保 氏 (株式会社セコマ 代表取締役会長)

10 分科会テーマと研究協議

各分科会においてテーマに係る講話等、小グループでの意見交流の後、全体共有やまとめ

第1分科会：PTA 活動「これからのPTA活動の在り方について」

第2分科会：進路指導「PTA活動と進路指導について」

第3分科会：生徒指導「DXO(ディクシー)プログラムを活用した発達支持的生徒指導について」

第4分科会：地域連携「学校、地域との連携・協働による学校づくりの未来について」

11 費 用 大会参加料 4,000 円 システム登録料 300 円 集録本 1,000 円 教育懇談会費 7,000 円

12 参加申込 参加申込・問合せ 令和7年4月1日(火)より WEB にて申込可能

申込先 北海道 AB トリップ〔網走バス(株)〕函館営業所 連絡先 0138-86-6170

(営業時間平日 9:30～17:30 土日祝日は休業) E-mail:yamada@hokkaido-abtrip.com

13 申込締切 令和7年5月2日(金)

14 事務局 北海道函館中部高等学校内 第74回北海道高等学校PTA連合会大会（道南大会）事務局

〒040-0012 函館市時任町11番3号 TEL0138-52-0303

講 演

演 題 「心で考える経営～地域と共に～」

講 師 株式会社セコマ

代表取締役会長

またにもやす
丸谷 智保 氏



《略歴》 北海道池田町出身

函館ラ・サール高等学校、慶應義塾大学法学部 卒業

1979年 4月 株式会社北海道拓殖銀行 入行
1997年 5月 同 営業企画部 次長
1998年10月 シティバンク エヌ・エイ 入行
2005年11月 同 顧客・人材開発本部 本部長
2007年 3月 株式会社セイコーマート（現 株式会社セコマ） 入社
6月 同 専務取締役
2008年 3月 同 取締役副社長
2009年 3月 同 代表取締役社長
2020年 4月 同 代表取締役会長（現職）

北海道経済同友会代表幹事、北海道経済連合会常任理事、
NACS(National Association of Convenience Store)International Board of Directors 就任、
北海道 EU 協会会長、函館市政策アドバイザー

第 74 回北海道高等学校 PTA 連合会大会（道南大会） 分科会のご案内

第 1 分科会（PTA 活動）＜会場：遺愛女子高等学校＞

○テーマ 「これからの PTA 活動の在り方について」

○テーマ設定趣旨

保護者の労働環境や労働意識、家族の在り方の変化に加え、教職員の働き方改革や価値観の多様化等、PTA を取り巻く環境は大きく変化している。こうした中、全国で PTA 活動の見直しが進められ、PTA を解散する自治体も出ている。自校の PTA で活動する保護者の中にも「目的がわからない」「非効率で無駄が多い」等の理由から PTA 活動を不要と考える人、「子どもを支える仕組みとして」「学校と親とをつなぐ役割」と考えて活動する人の双方がいると考えられる。

本分科会では、行事支援の在り方を見直した取組、担い手が減少する中での役員選出の方法等について話題提供を行い、各校の現状や改善に向けたアイデアを小グループで交流することで、自校の活動を振り返り、会員がやりがいをもって前向きに取り組める PTA 活動について考える契機とすることを目的とする。

○ファシリテーター 函館大学付属柏稜高等学校長

扇 柳 尚 英 氏

○話題提供者 北海道江差高等学校 P T A 会長

葛 山 直 樹 氏

北海道江差高等学校教頭

藤 本 純 一 氏

第 2 分科会（進路指導）＜会場：函館西高等学校＞

○テーマ 「PTA 活動と進路指導について」

○テーマ設定趣旨

学校と地域が連携して子どもの成長を支援していくには、子どもの健全な育成や学校教育の魅力化といった様々な目的がある。ただ、そうして育んできた子どもたちが、その地域の担い手として活躍できる場が限られており、子どもの人口が減少し、親子共に都会志向が強まっていく中で、卒業後の進路に生まれ育った地域で就職するという選択が減り、U ターン就労者も減っている。

本分科会では、地域の基幹産業を守りながら豊かに暮らしていける社会の構築のために、必要な人材を確保できるよう高校教育の中で世代間交流をすすめる、地域産業の理解を深めながら、PTA がどのように進路指導に参加していくべきかについて話題提供を行い、PTA 活動に新たな視点を加えることを目的とする。

○ファシリテーター 北海道檜山北高等学校 P T A 事務局教諭

荻 屋 美 加 氏

○話題提供者 今金町農業協同組合管理部企画審査課長

工 藤 耕 治 氏

北工建設株式会社代表取締役

佐 藤 剛 人 氏

第3分科会（生徒指導）＜会場：函館工業高等学校＞

○テーマ 「DXO（ディクソー）プログラムを活用した発達支持的生徒指導について」

○テーマ設定趣旨

選択できない出会いから始まる生活集団を、どのように認め合い・励まし合い・支え合える学習集団に変えていくかは、支持的で創造的な学級・ホームルームを作る上で重要な要素であり、生徒指導の土台になるものである。DXO プログラムは、一人一人の想いを大切にできる集団作りや関係性構築などのソーシャルスキル向上を促し、個と集団に対して発達を支えるプログラムになっており、発達支持的生徒指導として期待できる。

本分科会では、まず知内高校での DXO プログラムを活用した授業実践における話題提供を行う。続いて、分科会参加者が小グループに分かれて DXO プログラムの一部を体験することで、コミュニケーションのあり方や意見と意志の違い、意志決定方法などについて具体的に理解を深め、DXO プログラムからアプローチする発達支持的生徒指導について考え、習得することを目的とする。

○ファシリテーター 株式会社手放す経営ラボラトリー研究員 炭 屋 昭一郎 氏

○話題提供者 株式会社手放す経営ラボラトリー取締役 乾 真 人 氏

第4分科会（地域連携）＜会場：市立函館高等学校＞

○テーマ 「学校、家庭、地域との連携・協働による学校づくりの未来について」

○テーマ設定趣旨

学校が期待される社会的機能を果たし、未来の創り手である子どもたちの資質・能力を育むには、学校・家庭・地域の連携・協働が重要である。各学校は、生徒数減少や課題の複雑化・困難化などの教育環境の変化、少子高齢化やグローバル化、情報化の進展といった社会動向、地域活性化を担う地方創生の動きなどを踏まえ、新たな役割を果たしながら、創意工夫を生かした教育実践に取り組んでいる。

本分科会では、始めに学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の教育資源を活用した学校づくりに関して話題提供を行い、続いて、各地域の取組状況や今後の学校づくりについて分科会参加者の小グループでの話し合いを通じて、相互理解を深めるとともに、今後の学校・家庭・地域との連携・協働による学校づくりの未来について考える契機とすることを目的とする。

○ファシリテーター 北海道文教大学 特別学長補佐・教授・日本地域創生学会長

地域創生実践総合研究所長 経営学博士（学術） 木 村 俊 昭 氏

○話題提供者 北海道奥尻高等学校教頭 長 尾 祐 輔 氏